

朝の館内放送

平成30年8月6日
スピーカー 市長

みなさん、おはようございます。
市長の中村健です。

この1か月間、市の取り組みや職員の対応に対し、評価やお褒めの言葉を耳にする機会が多く、大変うれしく感じています。

今日は、いくつかを紹介させてもらいながら、その理由についても考えてみたいと思います。

一つ目は、ボランティア活動への協力についてです。

経済的に豊でない国に、布団などの物資を送るボランティア活動をしている一色町に在住の方が、クリーンセンターを所管する環境部にダメ元で協力をお願いしたところ、

快く職員が応じたそうで、市の職員を見る目が変わったと、大変喜んでおられました。

2つ目は、インスタグラムやフェイスブックに投稿している、西尾市公式アカウントである「にしおじかん」についてです。

行政が行うSNSというと、とかく堅苦しくて面白みに乏しいものになりがちですが、担当者がマメに現場へ足を運ぶとともに、投稿する写真や文字情報についてもよく考えられています。

「にしおじかん」を見て、各種のイベントやニュースを知ったという声も少なくなく、好評をいただいていると感じています。

3つ目は、高校野球東愛知大会決勝でのパブリックビューイングについてです。

この夏の高校野球東愛知大会における、西尾東高校の活躍により、多くの市民が夢や感動を抱き、西尾市全体が大いに盛り上がりました。

市を挙げて応援する機運を盛り上げるため、決勝戦では、市役所1階の多目的室でパブリックビューイングを実施しましたが、行政がこのようなことを実

朝の館内放送

施すること自体に対し、多くの方から喜びの言葉やお褒めの言葉をいただきました。

4つ目は、県の消防操法大会についてです。

稲沢市で開催された、愛知県の消防操法大会において、西尾市吉良消防団が優勝したのは記憶に新しいところですが、市の職員からも3名が選手として出場しました。

4月以降、連日のように厳しい練習を積み重ねての大会当日でありましたが、当日の頑張りもさることながら、それまでの努力や姿勢に対し、お褒めの言葉をいただきました。

以上4つの出来事に対し、自分なりに分析して要因を考えてみると、1つ目のボランティアへの協力については、四角四面の対応をせず、市民の立場に立って対応できたことが、2つ目の「にしおじかん」については、手間暇時間を惜しまず、多くの現場に足を運ぶことや、常に創意工夫を怠らない姿勢が、3つ目のパブリックビューイングについては、これから起こる出来事に対して先回りし、スピーディな対応ができたことが、4つ目の消防操法大会については、地域に溶け込む姿勢と、自分たちのまちは自分たちで守るんだという、消防団としての強い自覚と誇りが周りにしっかりと伝わったことが、それぞれ要因だったと思います。

これら以外にも、私の耳に入っていないだけで、職員のみなさんの多くの言動が、市民の喜びや信頼につながっているはずです。

市長として、この場を借りて感謝いたします。

先に紹介した事例における要因も参考にしながら、西尾市民からの期待と信頼をより一層得られるよう、これからも頑張っまいるまいりましょう。